民主改革さいたま市議団

E-mail info@democracy-saitamacity.jp https://democracy-saitamacity.jp





◆子育で10万円給付は現金一括に

12月定例会は市長提出議案32件、委員会提出 議案2件を可決し、24日間の会期(11.24~ 12.17) を終え閉会しました。

補正予算審査の中で大きな議論となった児童 手当給付相当所得の18歳以下の子育て世帯への 10万円給付について民主改革市議団では、本議 案上程に先立ち全額現金給付を求める緊急要望 を清水勇人市長に提出。市もこれを受け入れ、早 期の一括支給が実現しました。

また、住民税非課税世帯等への10万円給付や 抗体カクテル療法を必要とする新型コロナウイル ス感染症患者へのタクシー移動支援等の補正予 算も同時に成立。今後とも様々な困難を抱える人 に寄り添った施策の実現を求めてまいります。

◆特別支援教育を拡充へ

今回の補正予算には2022年4月に実施される 小学校3年生の35人学級に関する教室改修など の経費や、2023年の国際芸術祭開催準備経費な ども含まれています。必要な教員数の確保や芸術 祭の広報周知は今後の重要な課題です。

また教育委員会から、特別支援教育について20 23年に市立ひまわり学園に知的障害教育部門高 等部を設置する方針が示されました。これは大き な一歩ですが、わたしたちの会派では保護者から の声を反映するなど、さらなる教育機会の拡充に 向けて今後とも取り組んでいきます。

このほか、現下の厳しい経済状況に鑑みて、議 員・市長などの期末手当引き下げは他議案に先駆 け可決しました。

◆議会のオンライン化へ着手

自治体DX化の推進が課題となる中でオンライ ン議会に関する議論も例外ではありません。

今回、新型コロナウイルス感染により委員会の 開催場所に参集できない場合の救済措置として、 委員長の許可によりオンラインでの参加を認める 条例・規則の改正がなされました。

災害時対応を含めた普遍的なオンライン委員

会開催に向けた規 定整備は、今後、議 会改革推進特別委 員会で議論してい くことになります。 ご注目ください。



区別所属議員紹介



出雲 圭子





ī, 区

小川 寿士





















高柳 俊哉



阪本 克己



議会対策会長

















神崎 功







高野 秀樹









费 2 市民・事業者等との協働・連携を活かした公共サービス拡充

沼影市民プール閉鎖の場合は代替地に移転建設を

- ①さいたま市は沼影市民プールを閉鎖し、義務教育学校を建設すると いう計画を公表した。沼影市民プールを万が一閉鎖する場合には近 隣に代替地を用意し、新たに市民プールを移転、建設することを強く 求める。
- △沼影市民プールは市内で最も利用者が多い人気の施設である。市 民プールの近隣地域への移転については、費用対効果を考えながら 代替地を含めしっかり検討していく。

基本 11 災害時に命と暮らしをまもる地区防災力の強化向上

高層マンション地区の避難所不足について

- **○大規模な震災の発生により、水道、電気、ガス等のライフラインが停** 止し、在宅避難ができなくなった高層マンションの住民が全員避難 しなければならない場合、避難所が不足するのではないか。どのよ うに考えているか見解を伺う。
- ▲「さいたま市直下地震」においては12万3千人の避難者を想定して いるが、市内の学校の体育館のみならず校舎や公民館、コミュニティ センターを含めて全公共施設を開放し、全ての避難者を収容できる ようにする。また当該マンションでの自宅避難が可能な方には避難者 カードを提出してもらうことで物資の配給ができるようにする。





尽楽 4 すべての子どもと若者に夢とチャンスを

子どもの権利擁護のために

- ①子どもの権利条約に基づき、子ども自身と社会が子どもの権利を理 解し、その権利を守るための施策と子どもの権利擁護制度の導入を 求めるが、見解を伺う。
- ▲子どもは次代を担う社会の希望であり宝。すべての子どもがさまざま な場面において権利の主体として尊重される必要がある。児童養護 やいじめ防止などに関連する団体を通じ、児童の権利条約に関し、 広く周知を図っていく。また、子どもの権利擁護については、県や他 市の事例などを参考に、第三者機関の設置をはじめとした取り組み について幅広く研究していく。

基本 **5** 社会全体で子育てを支えるまち

プレイパークの拡充を求める

- ①子どもたちが遊びを通じて自主性や冒険心を育み、生き生きと成長 できる遊び場であるプレイパークの拡充について見解を伺う。
- △新規で常設・移動型プレイパークを公園内で行う場合は、「さいたま 市都市公園条例」の範囲内での活動であれば、指定管理者との協議 による行為許可制度の手続きを取ることで可能となる。常設の冒険は らっぱに関しては、利用者から好評も得ており、より多くの利用が可能 となるよう開園日等の調整を運営の委託先と協議していく。

※プレイパーク・・・火を使う、穴を掘る、のこぎりなどの工具を使えるなど禁止事項の少ない冒険 遊び場のこと







翔

蓋禁 11 災害時に命と暮らしをまもる地区防災力の強化向上

違法な盛り土を許さない土砂条例の規制強化について

- ℚ2021年8月、会派として土砂等たい積事案に対する緊急要望を市 長に行い、全量撤去の措置命令、土砂搬入禁止区域が指定された。 さらに踏みこんで、無許可や許可違反のたい積行為を即時停止させ る条例改正をすべきと考えるが見解を伺う。
- ▲岩槻区内において4ヵ所の土砂条例の許可を得ないたい積行為を 確認し、指導、勧告、全量撤去の措置命令、土砂搬入禁止区域への指 定をし、改善に向け指導している。また、土砂搬入禁止区域に関する 運用基準を見直し、行政指導に従わない行為者に対しても適用する ことで、これまで以上の対応を可能とした。国において盛り土に関す る法制化が行われた際は、条例改正も視野に入れ対応を検討する。

墨本 5 社会全体で子育てを支えるまち

個別最適な教育・支援について

- □起立性調節障害、低気圧による偏頭痛、生理痛などを抱える児童・ 生徒が、教職員や保護者の理解不足による何気ない一言や叱責で 傷つき葛藤を抱えている。教職員へ研修を行い、保護者に対しては 最新の知見を共有すべきではないか。
- △教員自身が経験したことがない事象は、知識としてはわかっていても 気持ちに寄り添えないこともある。研修を行い、子どもたちの様々な悩 みについて理解を深め、保護者にも情報提供を行い、一人一人に寄り 添った対応を行う。









្膝 12暮らしを支え活力を生み出す交通体系の構築と都市基盤整備 桜区のまちづくりと浸水対策について

◯西浦和駅周辺のまちづくりは、南□駅前広場や道路整備等の基盤整備 を行政が責任をもって進め、駅前周辺地域は再開発事業として進めて いくべきと考えるが見解を伺う。

油面川流域の浸水対策については、浸水被害の軽減を図るため具体 的にどの様な対策を実施するのか。

△都市計画道路田島大牧線と大谷場高木線とを結ぶ道路の拡幅、西 浦和駅南側の駅前広場整備とそのアクセス道路整備については、市 が中心となって進める。また、駅前の再開発事業によるまちづくりは、 地権者の意向を聞きながら、市としても可能性について検討する。 油面川の浸水対策は、流域の学校や公園などにおける貯留浸透施 設の整備を進めるため具体的な施設の選定や、今後整備が予定さ れる道場三室線栄和工区の雨水流出抑制施設の整備等、関係部局 で協議、調整を行っている。

基本 14 誰もが健康で心豊かに文化・スポーツにふれあえるまち アーバンスポーツの環境整備について

◎アーバンスポーツのできる場所の確保について、現在の検討状況は? A経済波及効果が期待できる民間商業施設への設置も含めて、現在、 関係団体等との意見交換を進めている。

※アーバンスポーツ・・・BMX、スケートボード、インラインスケート、プレイクダンスなどの都市型スポーツ

